

研究プロジェクト 3.「新企業・新産業創出に関わる実証研究」

社会には解決すべき様々な課題が山積している。課題解決のためには、個人や企業による新たな事業や企業、そして産業の創出が欠かせない。本研究プロジェクトは、新たな事業・企業・産業の創出に伴う社会・経済的課題を、経営学視点から実証的に明らかにすることを目的としている。現在推進している研究テーマは、以下の通りである。

- ・スタートアップを通じた創業プロセス：
 - ・日本の新興市場における創業プロセスと創業後の経営に関する研究
 - ・中国の新興市場における創業プロセスと創業後の経営に関する研究
- ・大企業における創業プロセス：
 - ・大企業における戦略・意思決定プロセスに関する研究
 - ・次世代高度経営人材の育成と課題、それらの解決策に関する研究
 - ・アクセラレータプログラムと創業プロセスに関する研究
- ・ビジネスと社会のあり方：
 - ・日本企業における社会的責任と企業競争力に関する研究
 - ・マイノリティと社会参加に関する研究
 - ・脱炭素化に向けた企業の排出抑制行動に関する研究
 - ・持続可能な水産業の実態と制度設計に関する研究
 - ・持続可能な食材・食品流通の実態と制度設計に関する研究

主たる研究成果：

軽部大（2020）「ビジネスケース 中村ブレイス：声なき声を拾い、形にする」『一橋ビジネスレビュー』 68 巻 1 号 144-158 頁（2020/06/25）

軽部大・小林信也・小野寺莉乃・高睿佳（2019）「ビジネスケース ママスクエア：子育てママを社会の主役に」『一橋ビジネスレビュー』 第 67 巻 2 号 122-136 頁（2019/09/26）

軽部大：内田大輔（2018）「ビジネスケース パナソニック：無錫松下冷機の挑戦と進化」『一橋ビジネスレビュー』 66 巻 2 号 150-163 頁（2018/09/27）

軽部大：内田大輔（2018）「ビジネスケース 富士メガネ：ビジョンが未来を切り拓く」『一橋ビジネスレビュー』 65 巻 4 号 142-157 頁（2018/03/29）

軽部大（2017）「イノベーションを見る眼」『一橋ビジネスレビュー』 64 巻 4 号 44-55 頁（2017/03/23）

軽部大（2017）『関与と越境：日本企業再生の論理』（有斐閣）

主な学会発表：

Strategic Management Society (2016)、AOM (2016, 2017, 2018)、SASE (2016, 2017, 2020)、EURAM(2018)、Babson College Entrepreneurship Research Conference(2018)、Annual Congress of European Accounting Association (2018)